

市政だより **くれ** 7

令和元年
(2019)
6月10日発行
vol. 821

人と人の繋がりが紡ぐ「防災」



災害から 命を守るために

「防災」は市民一人ひとりの備え（自助）、人のつながり（共助）、行政主体の対策準備（公助）が一体となって進めることが重要です。災害から命を守るために「今できること」とは、何でしょうか。今回は「防災」について特集します。

問 危機管理課 ☎0823-25-3326

平成30年7月豪雨被害状況

人的被害

死亡 28 名
（直接死 25 名 関連死 3 名）
負傷 22 名
（重傷 5 名 軽傷 17 名）
※負傷者数は、豪雨災害の直接起因による人数

家屋被害

全壊 323 棟
大規模半壊 133 棟
半壊 763 棟
一部損壊 1,250 棟
床下浸水 739 棟

公共施設被害

小中学校・福祉施設・環境衛生施設・
観光施設など 72 施設

インフラ関係被害

道路・河川・水道施設・公園など
941 箇所

（令和元年5月26日現在）

お知らせ

平成30年7月豪雨災害 追悼式を挙ります

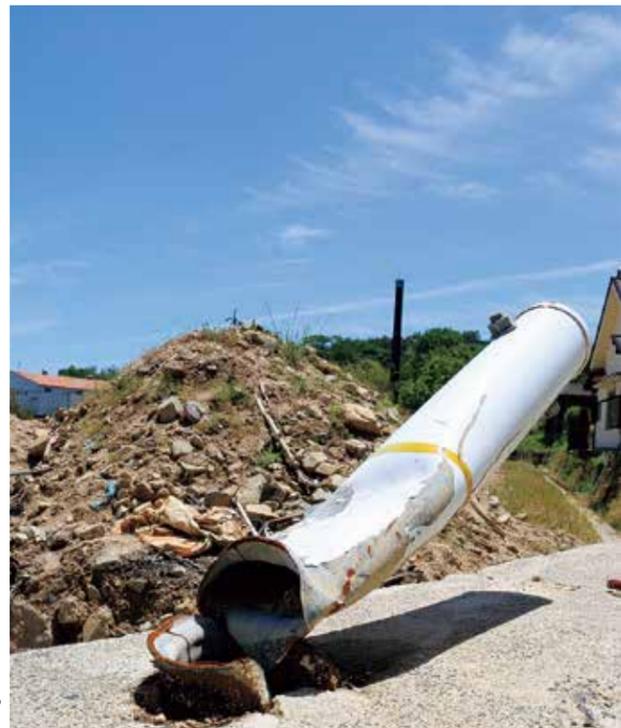
平成30年7月豪雨災害発生から1年を迎えるにあたり、犠牲になられた方々を追悼するための式典を執り行います。

日時 7/6 (土) 10:00～

場所 くれ絆ホール

※献花用のお花は会場に準備しています。どなたでもご参列いただけます。

みんなのために出来ることを
 安浦・水尻地区の「つながり」から学ぶもの



7月7日土曜日、朝5時。自宅裏手側から聞こえた大きな音に外の様子を見に行ってみると水尻地区の景色が一変していました。すぐに安浦水尻自治会、各有志会（愛好会、交友会、いきいきサロン）の代表者が連絡を取り合って無事を確認した

当時の状況



▲原型をとどめていないフェンスが土石流の凄まじさを物語っている

▶1年が経ち、支柱の折れ口がさびてきても当時の記憶は永遠にさび付くことはない

後、近所の安否確認に参加できる人を募りました。集まった人たちが水尻地区の安否を確認してまわる中で深刻な状況がより一層判明します。

水尻地区にとって重要な動線である県道と生活道が土砂や巨石で通行不可能となっていたり、橋の下に巨石が詰まって水をせき止めていました。このままでは二次被害の危険があると感じた自治会メンバーは「水尻の人の命に関わる」と察知し、近隣にある重機会社に重機の手配と応援を要請しました。すぐにやってきた重機の協力を得ながら、懸命に撤去作業を行うところに偶然通りかかった同業会社の協力もあり、県道・生活道の開通と二次被害を食い止める、緊急車両の通行を確保しました。



▲現在も残った土砂の撤去や二次被害防止のため、土のう設置が行われている

未曾有の事態に

近所の安否確認を行っていたメンバーに一本の情報が入りました。「自宅から土石流で流された人がいる」

すぐに消防団を筆頭に集結し、手分けをして捜しました。数時間にも及ぶ懸命の捜索活動により無事発見されましたが、近くに転がる大きな巨石や流木に「もしも直撃していたら...」。



▲川底にはまだ当時の土石が残る



当時の様子を話す
 中山一夫副会長

や各有志会ごとで月に一度集まり親交を深めるとともに連絡体制を強化してきました。災害時にも救援物資が届くまで、いきいきサロンが中心となり、自宅から食料を持ち寄って避難者や災害活動にあたる人たちに食事を準備してきました。「地域のまとまりが強いと、何かあったときに本当に心強いと感じる」と安浦水尻地区の住民は声を揃えます。

そして、「早めに避難すること」に「失敗」はない。雨雲レーダーや降水量情報をこまめに確認し、早めの判断で地域の人と声を掛けあい避難することが大切」と語っていました。

各区でまとめ上げた地図は、手持ちサイズの「焼山第三団地自主防災マップ」に反映した後、地区の人たちに配布される予定です。

まちだからこそ出来る防災

防災まちあるき点検は、4年前にも実施されましたが、前回と比べて今回は、「住民同士で防災に対する危機意識がより敏感になった」と第三団地自主防災会連合会の浅原会長は言います。

今回の防災まちあるき点検が、より中身の充実した会になるように、地区の防災リーダーの皆さんと何回も会議を重ねたうえ、ハザードマップに加えて4年前に作成した防災自主マップを基に下見を行うほか、各世帯に危険箇所を事前に報告してもらったアンケートを配布しました。そして、住民から集まった危険箇所の情報を、注意ポイントとして防災リーダーと共有し、当日は参加者と確認する体制を整えました。「今回は避難ルートの確認とともに、自分の住む町にどんな危

険箇所が隠れているのか、理解を深めてもらうことがねらいだった」と浅原会長は振り返ります。

まちあるき活動以外にも、第三団地住民は、今後災害が起きたときのために第三団地自主防災会連合会の組織を活かして防災活動に取り組みます。「こまめに計画を立て、訓練して、浸透させることで初めて、有事のときに役立つ」と第三団地住民の防災意識は、日に日に高まっています。

みんなのために出来ることを
 焼山・第三団地自主防災会連合会の「準備意識」から学ぶもの



①まちあるきを行う前に道順や注意点を確認する



③見つけた気づきを地図に記録していく



②まちあるきを行い、気づきをメモしていく



④見つけた気づきを発表し、情報共有する

「ここは、階段まわりに草木が覆い茂つとるけ、暗いときに避難する際、足下が危ないね」「水路は、よう見えんけ気をつけにゃいけんね」同じ地区の住民同士、真剣な眼差しで白地図に目を落としながら話し合います。去る5月19日に第三団地自主防災会連合会主催の「防災まちあるき点検」が実施されました。地域の人が集まりそれぞれの地区ごとに分かれてチームを作り、町内にある側溝のふた部分で滑りやすそうな箇所や水路、山の法面や樹木の状態といった危険箇所を確認してまわります。そして、持ち帰った情報を大きな地図に落とし込んでいくと、真っ白な地図は、あつという間に災害時の重要ポイント満載の「防災マップ」へと変貌しました。



▶避難訓練、まちあるき活動含め約100人が参加（写真はまちあるき活動参加者）



知る

梅雨前だからこそ確認を！
持っていますか？命を守る地図

全国各地で多発しているゲリラ豪雨など、いつどんな災害が起こるか予期出来ない昨今。自分の命を守るのは自分自身です。そのためにも、平日頃から安全な場所にすぐ避難するための「準備」が不可欠です。
呉市は、山々に囲まれた土地柄、土砂災害の危険性が高い場所が市内各地にあります。そのような危険な場所をお知らせする「ハザードマップ」を今一度確認してください。

ハザードマップとは

- ①各地区ごとに作成されています。
- ②地図に危険な箇所がレベルごとに色分けされています。
- ③防災のためのアドバイスが掲載されています。

▼表紙（中央地区版）



▼ハザードマップ（中央地区版）



ハザードマップはこちらから

各自治会を通して配布
呉市役所（2階 危機管理課）
各市民センター
（吉浦・警固屋・阿賀・広・仁方・宮原・天応・昭和・郷原・下蒲刈・川尻・音戸・倉橋・蒲刈・安浦・豊浜・豊）

スマートフォン・パソコン

<https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/82/hazardmap.html>

呉市 ハザードマップ 検索



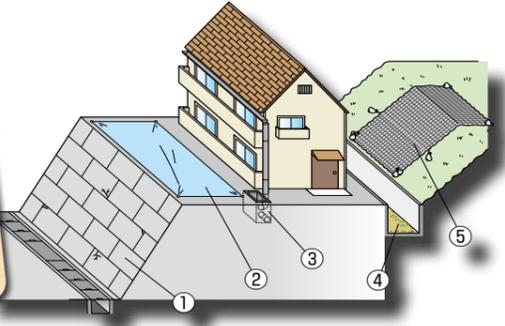
確かめる

いま確認したい！重要ポイント①
危険な箇所は近くに潜んでいる

わが家の排水周りが詰まっていると、小雨でも思わぬ事態を引き起こすかもしれません。

自宅周り確認ポイント

- ①擁壁のひび割れや変形に注意し、水抜き穴の詰まりは早めに解消する。
- ②擁壁の裏側に水が浸透しないよう、シートをかける。
- ③雨樋のつながる柵の中をふたを開けて確認し、接続部分や隙間から水漏れしないようにする。
- ④溝掃除を行って水を流れやすくし、あふれないようにする。
- ⑤崩れそうな土砂はあらかじめ取り除き、シートをかけて水の浸入を防ぐ。



雨が降る前に対策を！
崖崩れなどの災害が発生しやすい梅雨の前に家の周りや所有する土地を点検し、被害を防ぎましょう。
都市計画課 ☎25-3369

異常を感じたらこちらに連絡してください！

- 道路・河川・急傾斜地に関すること
土木維持課 ☎25-3352
- 農林道・ため池に関すること
農林土木課 ☎25-3322
- ※各市民センター・土木出張所でも受け付け

がけ地の防災工事へ融資制度もあります

傾斜角30度以上で高さ2mを超える宅地がけの復旧・防災工事に必要な資金を融資する制度があります。着工前に土木総務課（☎25-3207）へ相談してください。

注意 道路・河川などの異常に

大雨などで、道路・河川・ため池・急傾斜地などに異常を感じたら、速やかに連絡してください。また、道路の側溝を清掃し、水の通りを良くするなど、日頃から災害に備えましょう。ため池・急傾斜地などは、日頃から所有者・管理者が草刈りなどの維持管理・点検などを行い、異常を早期発見できるようにしましょう。

備える

いま確認したい！重要ポイント②
もしものために！持ち出しの確認

持ち出し品が多すぎると避難が大変です。目安は男性で15キロ、女性で10キロ程度です。

救急用品

- ☑ バンソウコウ
- ☑ 傷薬
- ☑ 包帯
- ☑ 常備薬など

衣類など

- ☑ 下着
- ☑ 上着
- ☑ タオル
- ☑ 毛布など

その他

- ☑ 歯ブラシ
- ☑ 石けん
- ☑ ヌガネ
- ☑ 手袋
- ☑ 貴重品

食品・水

- ☑ 乾パン
- ☑ パン
- ☑ 缶詰など
- ☑ 火を通さなくても食べられる物
- ☑ ミネラルウォーター

日用品

- ☑ 懐中電灯
- ☑ ラジオ
- ☑ 電池
- ☑ ライター
- ☑ ナイフ
- ☑ 缶切り
- ☑ ビニール袋
- ☑ ティッシュペーパー

チェック欄にチェックしてください。

避難の手引き（大雨編）を配布します

「避難の手引き（大雨編）」は、避難情報や防災情報の取得方法、開設予定避難所についてコンパクトにまとめたものとなっています。自治会を通じて各戸に配布しますので活用してください。
※自治会に未加入の人は、各市民センターまたは危機管理課で受け取ることができます。

危機管理課 ☎25-3326

スマートフォン・パソコン

<https://www.city.kure.lg.jp/site/saigaiinfo/ooamehinantebiki.html>

呉市 避難の手引き 検索

